

公共交通をご利用ください



市では、市民の皆さんの交通手段を確保するため、公共交通として、市内循環バスとデマンド交通（くきまる）の運行を行っています。

お出掛けの際には、これらの公共交通をご利用ください。

問合せ 生活安全課交通係
(内線2634)

	市内循環バス	デマンド交通（くきまる）
運行エリア	久喜地区、わし宮団地、菖蒲町三箇地域	菖蒲地区、栗橋・鷺宮地区（区域内運行）
路線・目的地	7路線で運行	自宅、公共施設、医療機関、金融機関、大規模店舗等 全407か所
運行日	月～土曜日（日曜、祝日、年末年始〔12月29日～1月3日〕は運休）	
運行時間帯	7時台～19時台（時刻表による）	7時～17時発（12時発は除く）の間で運行（1時間ごと）
利用料金	1回100円（割引制度あり）	1回300円（割引制度あり）
予約	—	事前に利用登録の上、利用したい日の1週間前から電話予約

連載 久喜歴史だより(第41回)

遷善館



「新建久喜遷善館記」碑

「新建久喜遷善館記」碑は、亀田鵬齊の文および書により、遷善館の由来を刻んだ碑で、文化5年（1808）に建てられました。碑は明治11年（1878）の久喜町の大火で失われてしまいました。幸いなことにその拓本（紙にあてて刻まれた文字を写しとったもの）が残されていました。そこで、郷土の誇りである遷善館を後世に伝えるために、その拓本をもとに碑を平成8年（1996）、久喜市公文書館の前庭に復刻しました。

遷善館は江戸時代後期、久喜の主だった人々の強い要請を受けて、代官早川八郎左衛門正紀が幕府の許可を得て、享和3年（1803）に設立した郷学（武士のための藩校と一般庶民のための寺子屋の中間に位置する官民一体となった教育機関）です。早川八郎左衛門正紀は、享和元年、久喜に赴任してきて善政を行った名代官です。

遷善館が設立された場所は久喜本町で、伝承によれば現在の久喜中央4丁

目のあたりだといわれています。造営費は村民の井上清兵衛が多くを負担しましたが、そのほかにも多くの人々が協力したといわれています。また、幕府も許可の際、敷地を与えるとともにその年貢と夫役（土木工事などの労働課役）を免除して援助しています。

遷善館の教育は、広く一般庶民を対象とする教諭日と町村の役人層の子弟を対象とする経書（儒教の経典で、四書・五経など中国古代の知識・人格に優れた人物の教えを記した書物）の講釈日からなっていました。教育にあたった儒者は、亀田鵬齊、その子綾瀬、大田錦城、久保筑水らです。

遷善館は、「埼玉県史料叢書4」によると、文政3年（1820）吉岡治郎右衛門支配中に廃止されました。今でも、久喜小学校、本町小学校、久喜中学校の校歌の歌詞の中には、「遷善館」の文字が見られます。



久喜市の人口

2月1日現在
()内は前月比

人	□ 154,616人	(-78)
男	77,287人	(-35)
女	77,329人	(-43)
世帯数	62,581世帯	(+9)

- 久喜市役所（本庁舎）
〒346-8501 下早見85-3 ☎ 0480-22-1111(代表) / ☎0480-22-3319
- 久喜市役所 第二庁舎
〒346-0024 北青柳1404-7 ☎ 0480-22-1111(代表) / ☎0480-22-0300
- 菖蒲総合支所
〒346-0192 菖蒲町新堀38 ☎ 0480-85-1111(代表) / ☎0480-85-1806
- 栗橋総合支所
〒349-1192 間鎌251-1 ☎ 0480-53-1111(代表) / ☎0480-52-6027
- 鷺宮総合支所
〒340-0295 鷺宮6丁目1-1 ☎ 0480-58-1111(代表) / ☎0480-58-2020

